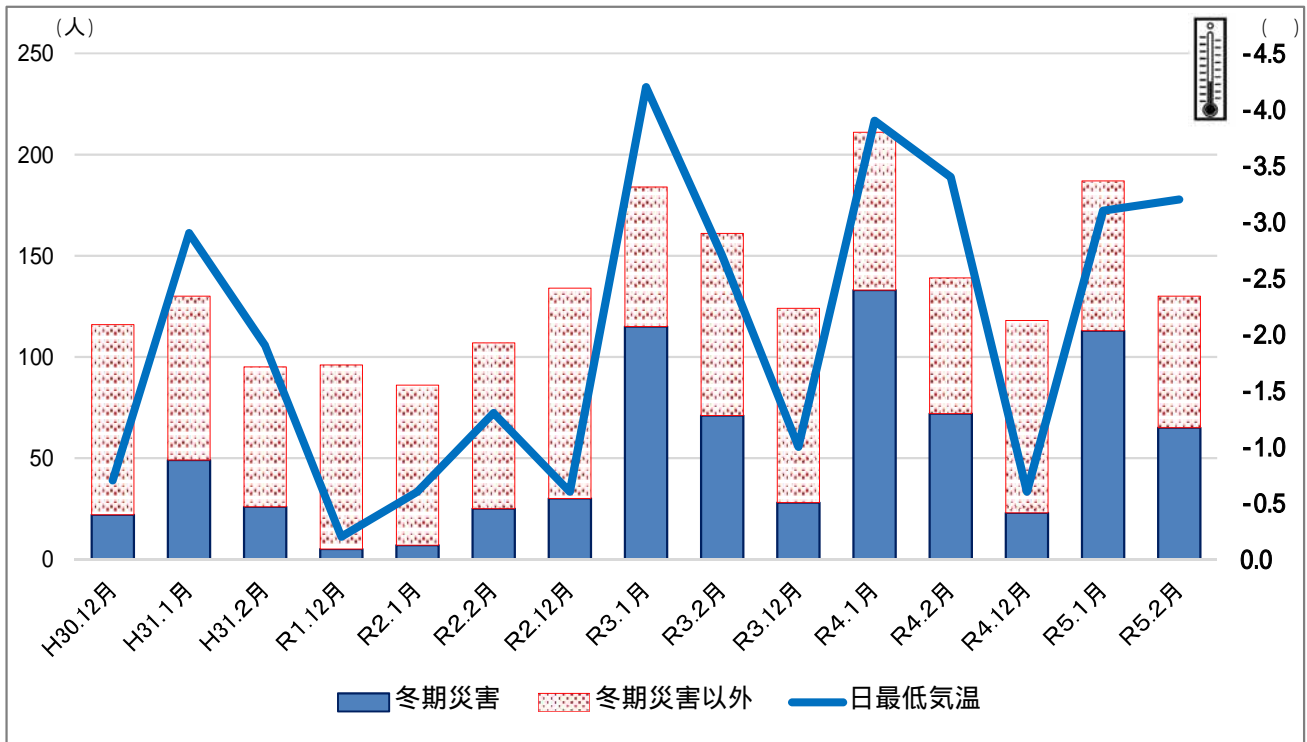


山形県内における冬期型災害発生状況

平成30年12月から令和5年2月までに発生した労働災害発生状況（休業4日以上
の労働災害で新型コロナ関連を除く）は以下のとおりです。

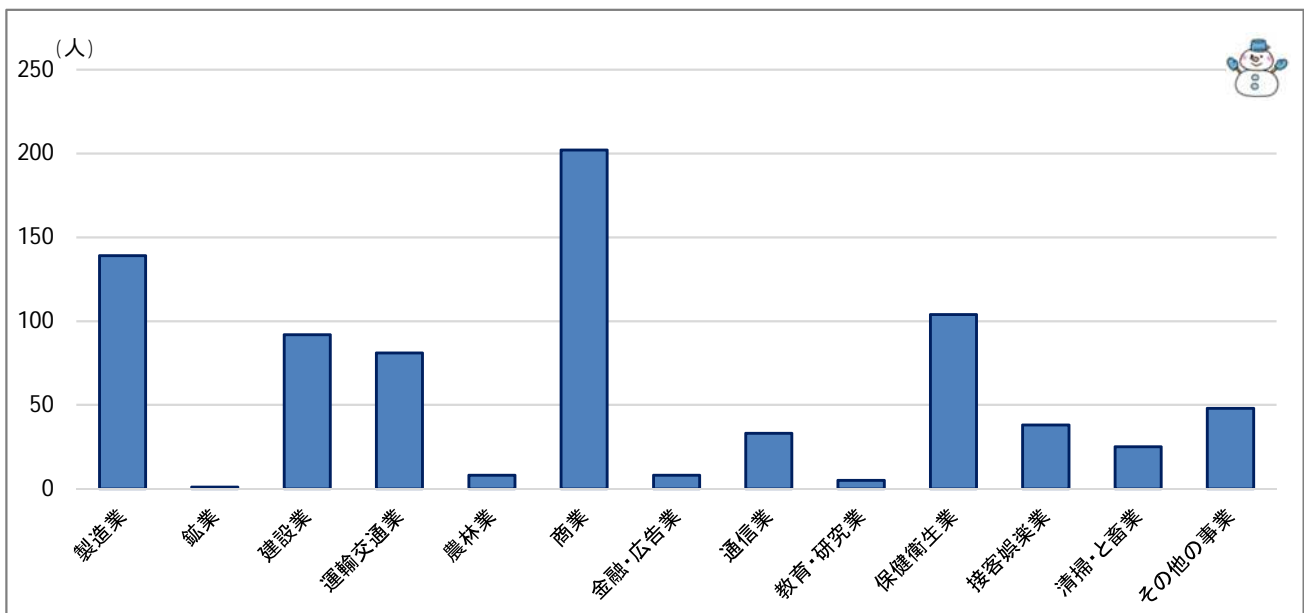
1. 月別労働災害発生状況と山形県における日最低気温の月平均値 （気象データは気象庁発表）

月別の労働災害発生件数（休業4日以上）と気象庁発表の「日最低気温の月平均値」を比較すると、最低気温平均値が低い月には冬期型災害が多く発生する傾向が見られる。



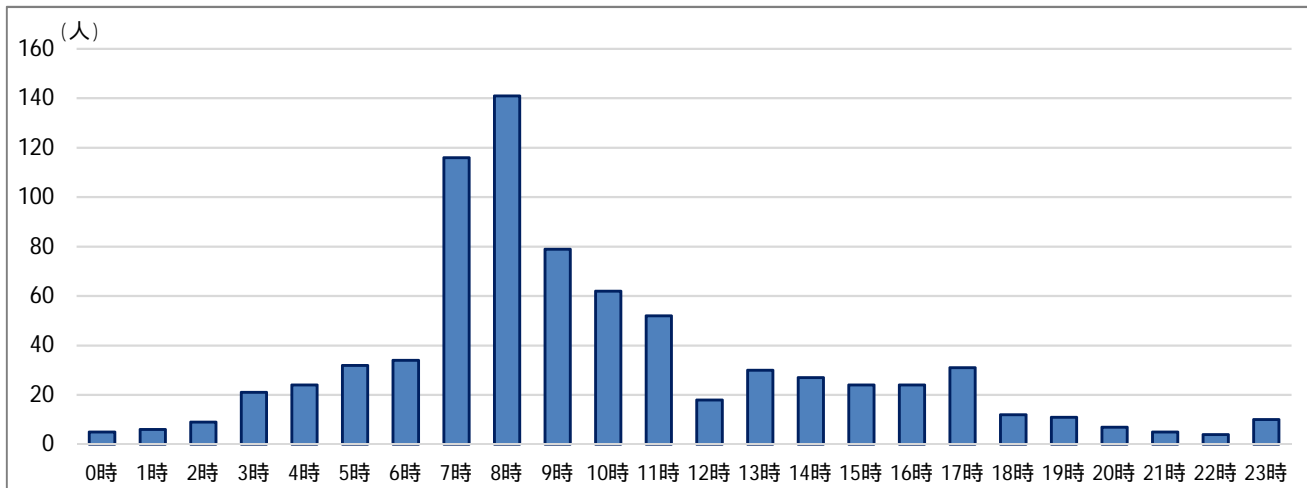
2. 業種別冬期型災害発生状況 （過去5年間）

冬期型災害は、「商業」において最も多く発生しており、次いで「製造業」、「保健衛生業」、「建設業」、「運輸交通業」で多く発生している。



3. 時間帯別冬期災害発生状況 (過去5年間)

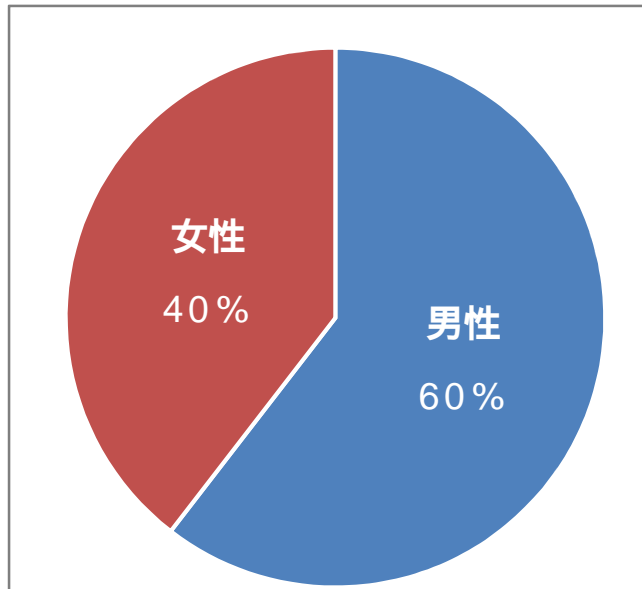
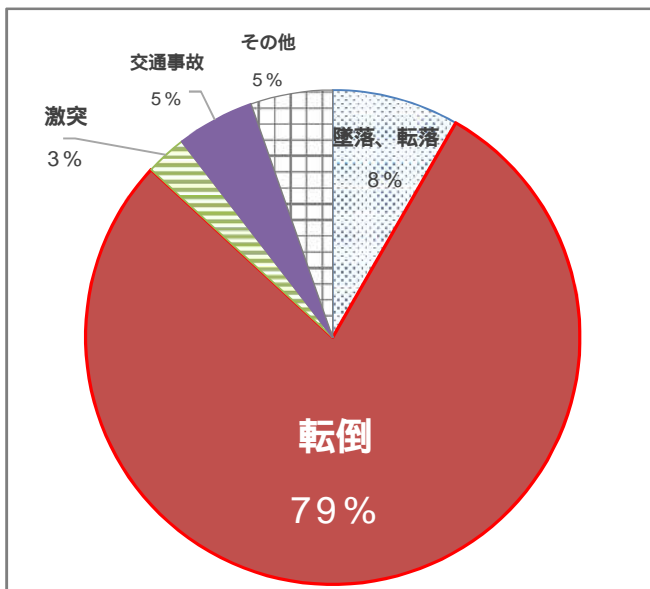
冬期型災害は、7時台(全体の15%)から8時台(同18%)、9時台(同10%)にかけて多く発生し、7時から11時までに発生した冬期型災害は全体の57%を占める。



4. 事故の型別冬期型災害発生状況 (過去5年間) 5. 男女型別冬期型災害発生状況 (過去5年間)

冬期型災害では、「転倒災害」が全体の79%と最も多く発生している。

男女別に分類すると、男性474人(60%)、女性310人(40%)が冬期型災害に被災している。



6. 休業日数別冬期型災害発生状況 (過去5年間)

過去5年間に発生した冬期型災害を休業(見込)日数別に分類すると、「1か月以上2か月未満」が全体の25%と最も多く、次いで「2週間以上1か月未満」(全体の22%)、「2か月以上3か月未満」(同16%)、「3か月以上6か月未満」(同16%)の災害が多く、休業1か月以上の災害が全体の58%を占める。

